



# 夙川～苦楽園～甲山



## 夙川さくら物語



西宮市の市花は「さくら」。市内には多くの名所が点在し、桜を愛でにたくさんの方が訪れます。中でも南北約2.8kmに渡る松林の中に約1660本の桜が咲き誇る夙川河川敷緑地は格別の美しさで、平成2年(1990)には(財)日本さくらの会により「日本さくら名所100選」にも選定されています。この夙川沿いに桜並木が誕生したのは今から60年前。夙川の河川敷を公園化し、河畔松林の全面的な保全をはかる都市計画を決定しました。

それに先立ち、当時の辰馬卯一郎市長の提唱で昭和24年(1949)、1000本の桜の若木を植樹。それらの桜の成長と共に、現在のような松と桜と川が織りなす独特な景観美が生まれたのです。桜の数や種類が多く、桜を愛する人がいる所には新種の桜が生まれるのだとか。夙川でも平成11年(1999)に、市内雲井町で自生していた桜が発見されました。この桜は平成17年(2005)に新種と判断され、公募により『夙川舞桜』と命名。植物生産研究センターで増殖にも成功し、今やこの夙川生まれの夙川舞桜は市内の数ヶ所で可憐な花を咲かせています。

開花情報「にしのみやお花メール」(開花時期のみ)  
<http://www.nishi.or.jp/homepage/hana/index.html>



**B-5 北山緑化植物園**  
総面積9haの中に緑の相談所や展示温室、北山山荘などがあり、四季を通じて自然が楽しめる。園内の植物生産研究センターではバイオ技術による西宮市オリジナル植物を研究。  
TEL.0798-72-9391 北山町1-1  
休:水曜(祝日は翌日)、年末年始



**B-1 夙川カトリック教会**  
阪神間初のカトリック教会。聖堂は昭和7年築のネオ・ゴシック様式。壮麗な外観は夙川のシンボリックな存在で、クリスマスや復活祭、教会バザーなどを通じ、市民に親しまれている。  
TEL.0798-22-1649 霞町5-40

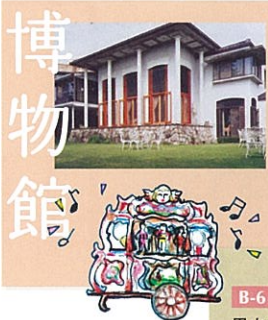
## 文学の舞台と湯川博士

夙川・苦楽園界隈は名作の舞台に数多く描かれるなど、この地に住んだ文化人の足跡が残っています。

遠藤周作とゆかり深いのが夙川カトリック教会。ここは彼が幼い頃洗礼を受けた教会で、「白い人」「黄色い人」など、カトリック作家としての遠藤周作文学の原点の地です。芦屋から夙川や苦楽園に足繁く通っていたのは谷崎潤一郎。「細雪」に登場するマンボウトunnelは彼の通い道でもあり、今なお市民の大切な生活通路です。野坂昭如の「火垂るの墓」に登場するのがニテコ池。取水塔は震災後に復元されたものですが、当時の姿を今に残しています。



また、日本人初のノーベル賞受賞者・湯川秀樹博士の足跡が残るのが苦楽園。ここで暮らした昭和8～15年の間に受賞の対象となった「中間子論」が生まれました。偉業を称え、苦楽園小学校には記念碑と資料を展示した「湯川文庫」があります。



**A-4 堀江オルゴール博物館**  
故・堀江光男氏によって収集されたオルゴール300有余点を展示。10時半、13時、15時から、さまざまなオルゴールの演奏が楽しめる。春と秋には徳川大坂城再建時の石切場からなる庭園を公開。  
TEL.0798-70-0656 苦楽園四番町7-1  
10:00～17:00(入館～16:00)  
休:月曜(祝日は翌日) 入館有料

貸農園では有機堆肥の販売も!

**B-6 西宮甲山乗馬クラブ**  
甲山のふもとで美しい景色を見ながら乗馬が楽しめる。体験乗馬からチケット制の乗馬教室、ライセンス取得教室、小学生向けのポニークラブまで多彩。  
TEL.0798-72-8111 鷺林寺2-14-12  
休:火曜 ※1回体験も要予約

## スイーツロード

夙川から甲陽園にかけての通りや駅界隈には洋菓子工房が集まっていることから「スイーツロード」と呼ばれるほどの激戦区で、それだけにどの店も質が高く、それぞれに多くのファンを持っています。他にも市内には職人が心を込めて手作りしている工房型の店が多くあるのが特長です。そんな「ケーキ工房のあるまち西宮」をもっと知ってもらおうと、毎秋開かれるのが「西宮洋菓子園遊会」。毎年1万人近い応募のある人気イベントです。

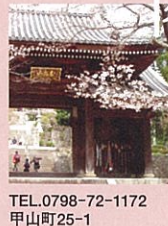


**F-4 廣田神社**  
日本書紀に記される兵庫県第一の古社。祭神は天照皇大神荒御魂。多くの御神徳の中でも勝運合格に優れ、阪神タイガースの選手をはじめ、受験生など必勝祈願に訪れる人が多い。



TEL.0798-74-3489 大社町7-7

**D-6 神呪寺(甲山大師)**  
お大師さんと親しみを込めて呼ばれる、千年を超える歴史を持つ寺院。御本尊の如意輪観音坐像は国の重要文化財。仁王門の南に江戸時代に作られた四国八十八ヶ所のミニ巡礼道も。



TEL.0798-72-1172 甲山町25-1

## まだまだあります! 必見スポット

**C-4 越木岩神社**  
北の戎。ご神体の甕岩は子授けや安産にご利益あり。  
TEL.0798-71-8375 甕岩町5-4

**A-6 鷺林寺**  
天長10年(833)弘法大師によって開創。秋の紅葉で有名。  
TEL.0798-71-8203 鷺林寺町4-8

**E-6 甲山森林公園**  
総面積83haの県立自然公園。森林浴や野鳥観察に最適。  
TEL.0798-73-4600(管理事務所) 甲山町43

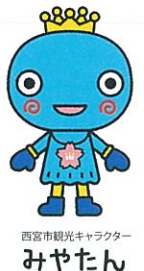
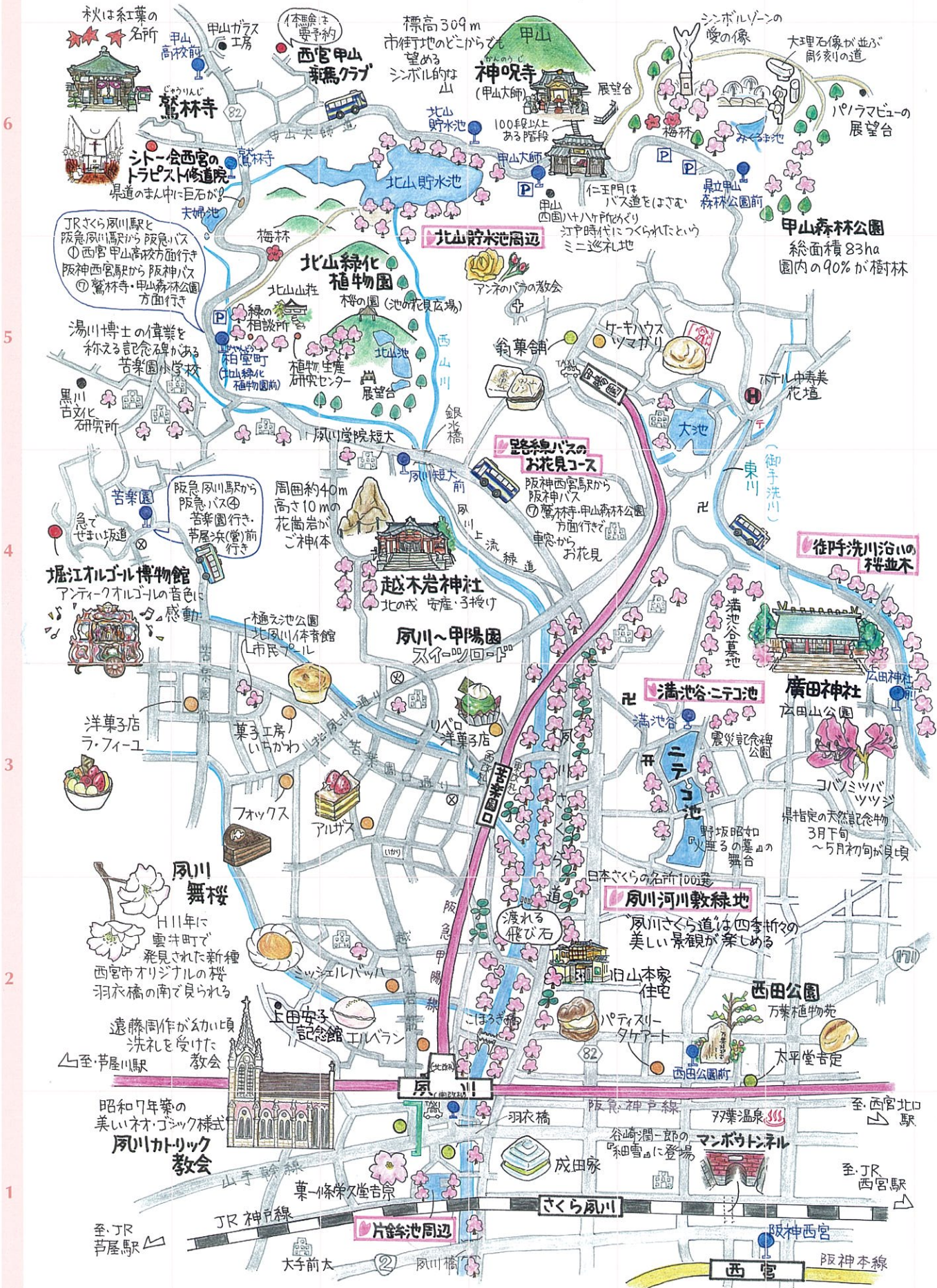
**A-6 シト一会西宮のトラビスト修道院**  
1935年、函館トラビストから独立した修道院。建物は村野藤吾氏設計。  
TEL.0798-71-8111 鷺林寺町3-46  
※お御堂訪問は要連絡



# 夙川 苦楽園 甲山

## ぷらっとウォーク 西宮探訪MAP

夙川公園や満池谷など市内でも有数の桜の名所や、市内のどこからでも望める甲山のふもとに広がる植物園や森林公園など、花と緑にあふれるエリア。そのよき環境に古くから多くの文化人や財界人が居を構えたことでお屋敷街が生まれたり、モダンと古典、和と洋が融合するおしゃれなまちが形成されました。



西宮市観光キャラクター  
みやたん



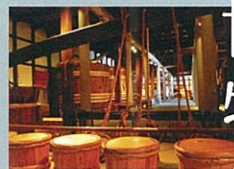
# ぶらっとウォーク 西宮探訪MAP2

## 阪神西宮～酒蔵通り

### 酒の歴史を学ぶ ほろ酔いロード

西宮には「灘の生一本」で有名な『灘五郷』の中の西宮郷と今津郷があり、全国に名高い歴史ある酒どころとして知られています。

灘の酒がその知名度を上げたのは、百万都市となった江戸に向け、上方からの海上輸送が頻繁になった江戸時代の中期。灘は海岸に面していたため輸送に有利で、樽廻船に大量の酒を積み込み、江戸市



C-2

### 白鹿記念酒造博物館

西宮郷の歴史と蔵に関する展示品を豊富に集めた「記念館」と、県と市の指定文化財の酒造用道具が展示され、昔の酒造りがひと目でわかる「酒蔵館」からなる酒ミュージアム。

TEL.0798-33-0008  
鞍掛町8-21  
10:00～17:00(入館は16:30)  
休:火曜(祝日は翌日) 入館有料

## 博物館



## 文化財

E-1

### 今津灯台

文化7年(1810)創建。木造による燈籠型では日本最古でいて、未だ現役。電気に切り替わる前までは、風雨の日も厳寒のときも、毎日、夕暮になると丁稚が油を2合たずさえて点灯に。そんな丁稚さんの働きによって多くの船の安全が守られてきた。

中へと送り込みました。当時、西宮には樽廻船間屋が6軒あり、今津港からも多くの船が出港。その航海の安全を図るため、長部長兵衛が私財を投じて創建したのが今津灯台で、当時の面影を今に伝える貴重な建造物のひとつです。その後、銘酒誕生に大きな影響を与えることとなったのが『宮水』の発見。この水を仕込み水に用いたところ、酒の質が明らかに向上し、人気不動のものとなりました。現在もこのエリアには、濃醇辛口な西宮の地酒『灘の生一本』を造る13の酒造メーカーがあり、歴史資料の展示や文化講座、酒イベントなどさまざまな形で、日本酒にふれることができます。

蔵元で灘の酒を買いたい!

### 個性あふれる酒蔵ショップ

#### C-2 白鹿クラシックス

江戸・明治時代の面影を今に伝える3つの蔵を活かしたカフェレストラン。  
鞍掛町7-7 休:火曜(祝日は翌日)  
カシオプラザ:TEL.0798-35-0001 11:00～22:00  
ショップ:TEL.0798-35-0286 10:00～19:00

#### D-1 万代大澤醸造

南部社氏による手づくりこだわりの直詰めの蔵出し原酒を蔵先で販売。  
TEL.0798-34-1300 東町1-13-25  
休:日曜、祝日 10:00～18:00



#### C-3 白鷹禄水苑

蔵元の辰馬家の住宅をイメージ再現。イベントやセミナーなどを多数開催。  
TEL.0798-39-0235 鞍掛町5-1 休:第1・3水曜  
展示室見学:11:00～18:30 ショップ「美禄市」:11:00～19:00  
蔵BAR(金・土・日・祝):12:00～16:30(テイスティングバーは18:30)

#### D-1 大澤本家酒造

築60年以上の貴重な木造蔵が残る。創業250年の蔵元で原酒を販売。  
TEL.0798-33-0287 東町1-13-28  
休:日曜、祝日



### 福が授かる「えべっさん」のまち

福の神、えびす様の総本社として、全国から崇敬を集める西宮神社。正月の十日戎には宵戎・本戎・残り福の3日間で、百万人を超す人出で賑わいます。

この「えびす信仰」が広まったのは室町時代。七福神信仰によってえびす様が福神の代表となり、西宮神社がその信仰の本拠地。その頃、傀儡師が神社の雑役奉仕のかたわらお札を持って諸国を巡り、お得意の人形を躍らせながらご神徳をひろめていきました。江戸時代には上方の商業経済の発展に伴い、福の神は「商売繁盛の神」として信仰されるようになっていきました。



西宮神社が「えべっさん」と親愛を込めて呼ばれるのも、民間で広まった身近な神様というイメージがあるからなのかも知れません。

#### D-3 木谷酒造

銘酒「喜一」を扱う西宮郷の蔵元。天保4年創業、宮水井戸横の店頭で販売。  
TEL.0798-22-1255 石在町14-5  
休:土曜、日曜、祝日 9:00～16:00

#### D-3 日本盛酒蔵通り煉瓦館

吹きガラス体験や米ぬか化粧品でフェイシャルエステもできる体験型の館。  
TEL.0798-32-2525 用海町4-28  
休:第2・3火曜 10:00～22:00  
(入館～20:30、売店・ガラス工房～19:00)

#### F-2 大関甘辛の関寿庵

甘(お菓子)と辛(お酒)が融合。酒饅頭や酒カステラは喫茶でもいただける。  
TEL.0798-32-3039 今津出在家町3-3  
休:1月1日、2日 10:00～19:00

F-4

### 「和樽」田中製樽工業所

酒どころで育まれた伝統文化の和樽を製造。手作りの優しい木香をはなつ。和樽の新しい魅力を引き出すオリジナル商品の開発も。

TEL.0798-34-0032  
今津山中町6-26  
10:00～18:00  
休:日曜、祝日



F-3

### 「和ろうそく」松本商店

一本一本を手で作る伝統技法「清浄掛け」で製造。予約をすれば、人数限定で製作や贈付けの体験もできる。(体験受付～16:00)

TEL.0798-36-6021  
今津水波町11-3  
9:30～18:00  
休:日曜、祝日



匠のもとで  
手作り体験!

## 体験



## 神社

#### B-5 西宮神社

豊臣秀頼の寄進と伝えられる彩色の赤門(表大門)は国の重要文化財。1月10日午前6時に行われる開門神事は、この門が開かれて福男が選ばれる。境内には甲子園球場がすっぽり入る広さで、社叢「えびすの森」は県の天然記念物。

TEL.0798-33-0321 社家町1-17



#### C-6 傀儡師故跡

多くの傀儡師が定住していたという産所町には、首から箱を下げて人形を操る「箱回し」の傀儡師像と故跡の石碑が立てられている。

## 史跡

### まだまだあります! 必見スポット



#### C-5 戎座人形芝居館

全国でも珍しい人形劇の常設小売。人形劇の見学や昔あそび体験ができる。  
TEL.0798-55-8099 馬場町6-26  
11:00～17:00 休:火曜

#### B-5 辰馬考古資料館

銅鐸などの考古遺物を展示。国の重要文化財も多数収蔵。  
TEL.0798-34-0130 松下町2-28  
10:00～16:30(入館～16:00)  
休:月曜、冬期 入館有料

#### B-3 西宮市立郷土資料館

郷土の歴史や文化についての知識と理解を深める資料館。  
TEL.0798-33-1298 川添町15-26  
10:00～17:00(入館～16:30)  
休:月曜、年末年始

#### F-2 今津六角堂

明治15年(1882)に建築された、今津小学校の学舎。現在も一部は教室として使用。見学は開校日のみ、要予約。  
TEL.0798-33-0923 今津二葉町4-10



A-4

### 西宮市大谷記念美術館

故・大谷竹次郎氏から西宮市に寄贈された美術品と邸宅をもとに、昭和47年(1972)に開館。昭和53年(1978)以来、毎年開催する「イタリヤ・ボローニャ国際絵本原画展」は人気の展覧会。

TEL.0798-33-0164 中浜町4-38  
10:00～17:00(入館～16:30)  
休:水曜(祝日は翌日) 入館有料

## 美術館



お問い合わせ:西宮市・西宮観光協会 TEL.0798-35-3321  
協力:ブランド・インキュベーション事業実行委員会 発行:平成24年4月

<http://nishinomiya-kanko.jp>

# 阪神西宮と酒蔵通り



## ぷらっとウォーク 西宮探訪MAP

商売繁盛の神様「えべっさん」を祀る、えびす神社の総本社「西宮神社」と、西宮郷と今津郷を結ぶ「酒蔵通り」の、西宮の2大観光スポットを有するエリア。毎年10月上旬に西宮神社をメイン会場に開催する「酒ぐらルネサンスと食フェア」では、西宮の日本酒と食、伝統文化を全国発信しています。





# 甲子園～鳴尾浜・西宮浜



## 甲子園球場と共に



高校野球にプロ野球、野球シーズンには連日の賑わいを見せる阪神甲子園球場。その歴史は古く、開場は大正13年(1924)。甲子(きのえね)の年に出来たことから甲子園と名づけられました。平成22年(2010)3月に誕生した甲子園歴史館では、そんな球場

の歴史をはじめ、高校野球、阪神タイガースの歴史を知ることができます。甲子園球場の周辺には必勝祈願に訪れる素盞鳴神社や、高校球児や野球選手が通う飲食店があるほか、高校球児が宿泊することもあるため、市内でも旅館などの宿泊施設や野球場、公衆浴場までが集中するなど、甲子園球場と共に街ができあがっていったことがよくわかります。

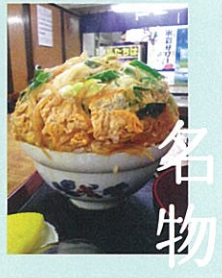
## 旅館の女将が語る、高校球児のちょっといい話



「うちは毎年、鹿児島県代表が宿泊しています。高校球児はいい子ばかり。みんな行儀いいし、挨拶もするし、スリッパもきちんと揃えるし、食器の片付けを手伝ってくれたりも。親の躰だけじゃあはいかない。野球だけが上手くてだめなんですよね。高校野球って、気は遣いますよ。風邪をひかないようにクーラーをかけすぎないとか、お腹壊さないように買い食いしないとか、ついつい口うるさくなる。でも、体調管理とか、そういう意識の高い学校が多い学校は、やっぱり強い。どんどん勝ち上がってくると田舎のお兄ちゃんやったのが、イケメンくんに見える(笑)。そんな風にどんどん変わっていくのを見るのが楽しくて。毎大会ごとに、いろいろな思い出を作ってくれることが、この仕事をやっていて一番のやりがいですね」  
「やっこ旅館」女将 芳本三栄子さん

## C-4 大力食堂のかつ井

高校球児や野球選手も通う食堂。人気の秘密は「世界一のボリューム」と店主も誇る、でか盛りの名物かつ井。完食すると願いが叶うとの噂に、必勝祈願でチャレンジする人も。  
TEL.0798-49-0800  
甲子園網引町2-29



名物

## D-4 甲子園歴史館

阪神甲子園球場、高校野球、阪神タイガースの歴史を一堂に会した歴史館。普段の野球観戦では見ることのできない球場内の裏側をガイド付きで見学するスタジアムツアー(前日までに要予約)も実施。  
TEL.0798-49-4509 甲子園町1-82  
10:00～18:00(入館～17:30)(季節により変動)  
入館有料  
休:月曜(試合開催日、祝日は除く)  
年末年始、メンテナンス休館あり



博物館

## 甲子園おみやげロード

JR甲子園口駅から阪神甲子園駅周辺には、夙川のスイーツロードにも負けないほどに、質の高い和洋菓子店が点在しています。それぞれの工房では甲子園をイメージした和洋スイーツを開発。工夫を凝らした甲子園みやげは地元の人にも愛されています。



まだまだあります!  
必見スポット

文化財

## A-4 西宮砲台

幕末のころ、国防に不安を感じた江戸幕府が都警護の要地にあたる大阪湾に砲台を築いた、その中のひとつ。慶応2年(1866)に完成した直後に明治維新となり、実際に使われることはなかったとか。高さ12m、周囲53mもある大きなもので、国の重要文化財。

## A-3 西宮市貝類館

菊池典男氏から寄贈された黒田徳米博士の貝類資料、約3800種類4万点を收藏。さまざまな環境に生きる貝の自然の不思議な世界が楽しめる。中庭には海洋冒険家、堀江謙一氏のマメイド4世号を展示。  
TEL.0798-33-4888 西宮浜4-13-4  
10:00～17:00(入館～16:30) 入館有料  
休:水曜(祝日は翌日)、年末年始、夏休み期間中は無休



## 旧甲子園ホテル物語

甲子園ホテルは昭和5年(1930)に、帝国ホテルの支配人・林愛作の理想に基づいて計画されたリゾートホテルでした。設計は建築家フランク・ロイド・ライトの愛弟子、遠藤新。当時は「東の帝国ホテル、西の甲子園ホテル」と並び称され、皇族などの社交場として賑わいました。



建築

## F-6 武庫川女子大学 甲子園会館

TEL.0798-67-0079(庶務課)  
戸崎町1-13 ※見学要予約

現在は武庫川女子大学甲子園会館として、女子大としては珍しい建築学科の校舎に。また、地域の生涯学習の場としても使われています。打出の小槌をイメージしたオーナメントや緑の瓦、天井の障子など、日本の伝統美をいかした洋式建築は、今に息づく貴重な教材です。

国登録有形文化財(文化庁) / 近代化産業遺産(経済産業省) / 景観形成建築物(西宮市)

## C-3 甲子園浜海浜公園

「ふるさと海岸地区」は阪神間に唯一残された自然の砂浜・干潟・磯がある貴重な浜。  
TEL.0798-46-3193(公園管理事務所)

## A-3 新西宮ヨットハーバー

日本有数の規模を誇る。年間を通じてさまざまなイベントも。  
TEL.0798-33-0651 西宮浜4-16-1

## D-1 リゾート鳴尾浜

リゾート気分をたっぷり味わえる複合スパリゾート。  
TEL.0798-42-2161 鳴尾浜3-13

## D-3 キッズニア甲子園

子どもの職業・社会体験施設。対象3～15歳。有料・要予約。  
TEL.0570-06-4343  
甲子園八幡町1-100らばーと甲子園3020



# 甲子園 鳴尾浜 西宮浜

## ぷらっとウォーク 西宮探訪MAP

高校球児の憧れの地で、阪神タイガースの本拠地でもある甲子園球場。この球場と共に街が発展しているのも、もともとリゾート地であったという歴史からも知れません。その面影を残す旧甲子園ホテル。新たなリゾート地として多彩な楽しみ方ができるベイサイド。アクティブに過ごしたいエリアです。



釣った魚は  
リゾ鳴尾浜の  
ババキュー場で  
食べられます



ヨットの中心を  
イメージした建物は  
安藤忠雄氏の設計

中庭に  
堀江謙一氏の  
マノイド鳥が  
展示されている

各都道府県の木が  
描かれている  
モニュメント

阪神タイガースファームの  
試合や練習が  
見られる

# 西宮北口～甲東園

## 街は四つ葉のクローバー

阪急西宮北口駅が誕生したのは大正9年(1920)。開業当時は周囲には何もない駅でしたが、大阪や神戸へ行く利便性や、かつて“西宮七園”と呼ばれた中の甲風園、昭和園、甲東園などの高級邸宅街のイメージから、駅周辺は急速に市街化。東西を走る神戸線と南北を走る今津線が平面交差していたことから4つのエリアが生まれ、遊ぶなら阪急西宮球場のある南東へ。買物なら市場や商店街のある北東へ。夜には飲食店ひしめく北西の「にしきた商店街」へと、住み分けがされていきました。

その後、この街が大きく動いたのは平成7年(1995)の阪神淡路大震災後。駅周辺一帯が震災復興の推進地区となり、最も被害があった北東側より着手。復興のシンボルとなったのが「アクタ西宮」で、その奥に広がる住宅街には防火水槽を備えた公園が設けられるなど、防災モデル地区にもなっています。

南西の「芸術文化センター」や南東の「阪急西宮ガーデンズ」の登場で4つの異なる魅力を持つエリアが誕生。互いに協力しあい、クリスマスイルミネーションや街角コンサートを開催するなど、駅を中心に大きな“四つ葉のクローバー”が育っています。



**D-2**  
にしきた商店街

銀行、証券会社、医院、学習塾、個性的な飲食店がひしめき合う。朝市や寄席など、商店街をあげて数々のイベントで楽しませてくれる。商店街を流れる津門川は野鳥や魚が見られる都会のオアシス。

南昭和町 他



**E-2**  
アクタ西宮

駅直結の複合ショッピングモール。衣料品や飲食店、スーパーの他、市の保健福祉センター、消費生活センター、図書館、大学交流センターなど市民生活に欠かせない施設が揃う。  
TEL.0798-66-9335(アクタ西宮振興会)北口町1

**D-1**  
兵庫県立芸術文化センター

佐渡裕芸術監督のもと、多彩な舞台芸術を創造、発信。大中小のホールでは国際級のアーティストから地元拠点の演奏家まで、出演者も多彩。ワンコインコンサートなどを企画。

TEL.0798-68-0223(劇場事務所)  
高松町2-22



**E-1**  
阪急西宮ガーデンズ

阪急西宮スタジアム跡地に誕生した、百貨店や映画館などの大型店と専門店などを合わせた268店舗が揃う、西日本最大のショッピングセンター。西宮の新しい“園”となるべく名づけられた。

TEL.0798-68-6666(代)  
高松町14-2



**D-5** 山陽新幹線記念公園

山陽新幹線のトンネル出入口の真上に、工事で亡くなった方の慰霊を込めて作られた公園。平成20年(2008)11月末には0系新幹線の見納め撮影スポットとして話題に。



**E-5** リトルアジア

たくさんの学生が利用する駅周辺には、おいしくてリーズナブルな飲食店が多いのが特長。甲東園駅周辺も同様で、特に、若者が好きなタイやインドなどのアジア系のいろいろな国の料理店が集まっていることから「リトルアジア」と呼ばれ、グルメ巡りはちょっとした旅行気分を味わえる。

## 門戸厄神と西国街道

弘法大師の創建と伝えられる真言宗の寺院で、境内の厄神明王は日本三体厄神のひとつ。地元では親愛を込め「やくじんさん」と呼び、毎月19日の厄除け例祭にはたくさんの人が訪れます。

近くには旧西国街道が通り、周辺には古い道標が点在していて、昔より、お参りに訪れた人が多かったことを静かに物語っています。



**C-5**  
門戸厄神(東光寺)  
TEL.0798-51-0268  
門戸西町2-26

寺院

## 上ヶ原文教地区とヴォーリス建築

緑豊かな上ヶ原台地は、昭和33年(1958)、東京の国立に次いで指定された日本でも有数の文教地区です。もともと上ヶ原台地のある甲東地区は古くから教育熱心な土地柄で、下大市には文政年間(1818～1830)から寺子屋があり、明治政府によって学制が公布された翌年の明治6年(1873)には門戸小学校(現・甲東小学校)が設立。昭和初期には関西学院や神戸女学院などが、この地に移転しました。ただ学校が多いだけでなく、この地が目されるのは、日本で数多くの西洋建築を手がけた建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリスの建築物が息づいていること。関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスと神戸女学院岡田山キャンパスは、彼の真骨頂でもあるスパニッシュ・ミッション・スタイルで、優雅な校舎群が自然の中にレイアウトされています。

ヴォーリス建築の  
キャンパスで  
学生体験!



両校ではそれぞれ、気軽に参加できるオープンキャンパスや公開講座から聴講生まで、地域の方々への学びたいという気持ちに応えるべく生涯学習の場を提供。

**B-6** 関西学院大学  
TEL.0798-54-6017(広報室)

**B-4** 神戸女学院大学  
TEL.0798-51-8585(企画広報室)

体験

## まだまだあります! 必見スポット

**D-6** 額川美術館

絵画や工芸を中心に日本や中国の美術品約500点を収蔵。  
TEL.0798-51-3915 上甲東園1-10-40  
10:00～16:00(入館は15:30)  
休:月曜、祝日の翌日 入館有料

**C-6** 甲東梅林(甲東公民館)

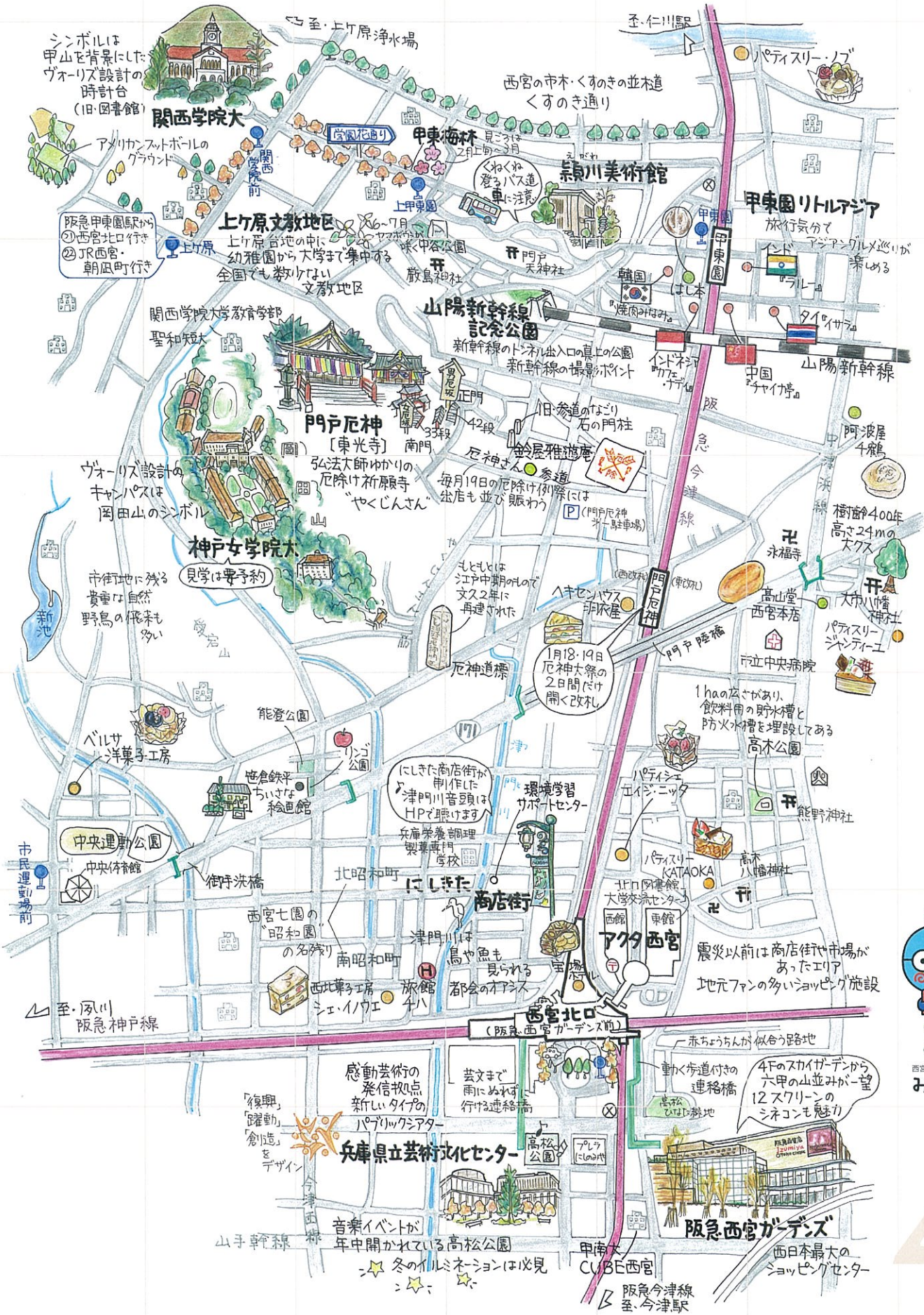
2月上旬～3月に渡り、39品種約200本の梅林が楽しめる。  
TEL.0798-51-3748 上甲東園2-11-60  
開花情報「にのみやお花メール」(開花時期のみ)  
<http://www.nishi.or.jp/homepage/hana/index.html>



# 西宮北口と甲東園

## ぷらっとウォーク 西宮探訪MAP

市内の東西南北を結ぶ西宮北口駅。周辺はここ数年で大きく変わり、駅を中心に4つの異なる魅力を持つエリアが確立され、市内外からも注目されています。東西に走る旧西国街道は歴史を感じさせ、門戸厄神～甲東園は学生の街。豊かな自然の上ヶ原台地は幼稚園から大学まで集まる日本屈指の文教地区です。



震災以前は商店街や市場があったエリア  
地元ファンの多いショッピング施設

4Fのスカイガーデンから  
六甲の山並みが一望  
12スクリーンの  
シネコンも魅力

感動芸術の  
発信拠点  
新しいタイプの  
パブリックシネマター

音楽イベントが  
年中開かれている高松公園  
☆冬のイルミネーションは必見  
☆☆